

姫路支部だより

H I M E J I S H I B U D A Y O R I

8

2017 August No.27



1 7月の活動報告
8月の活動予定
参加者募集中の事業
お知らせ

2 活動報告
全国女性建築士連絡協議会
森澤理恵子
3 高野山見学研修会 付録
藤本正敏



清流千種川沿いが上がっていくと
そのお堂はひっそりと鎮座する。
宍粟市指定文化財「一里堂」
木造平屋建て2間四面宝形造
茅葺屋根の大師堂である。

「江戸時代主な街道筋には一里ごとの目印
として一里塚が設けられたが、これが地方
へ普及したものと考えられる。」
(宍粟市教育委員会)

茅葺屋根の宝形造は棟の納まりが複雑となるが
その小屋組みが実に巧みに納められている。
軸組み構造は明治時代以前にはよく用い
られていた折置組みで管柱は4寸5分
角、正面は2間掛け放しの開口部を支
持する虹梁を6寸8分角の柱で
支えている。

棟の防水のための尖った
棟飾りが結果として
愛らしいアクセントと
なっている。

何度かここを
訪れたが
いつも綺麗に
整えられていて
訪れる人を
温かく迎えてくれる。

江戸時代に創建された
と伝えられるこのお堂は、
幾人の旅の安全を
見守って
下さったのだろうか・・・
この本尊の優しい姿に
そんな思いをさせる。

この建物をここまで
大切に保存された
地元の方々の思
いが重なるこの
建物の深みが浸
み透る。

いつまでも
残したい
日本の原風景
である。

表紙写真・文
一里堂(いちりどう)
宍粟市千種町下河野
(西嶋 宣久)



■ 7月の活動報告

- 7. 3(月) 建築模型作り体験講座(県立ものづくり体験館) 理事会(姫路建設会館)
- 7. 7(金) 建築模型作り体験講座(県立ものづくり体験館)
- 7.13(木) 環境デザイン研修会(姫路建設会館)
- 7.19(水) 環境デザイン研修会(姫路建設会館)
- 7.24(月) 建築模型作り体験講座(県立ものづくり体験館)
- 7.25(火) 建築模型作り体験講座(県立ものづくり体験館)
- 7.27(木) CPD認定事業 構造学習会(姫路建設会館)
- CPD認定事業 建築相談(姫路市役所)

■ 8月の活動予定

- 8. 5(土) シンポジウム「(仮称)播磨に住まう〜季節と住まい編〜」中間報告会(県立ものづくり体験館) 納涼懇親会(姫路モノリス旧通信省姫路別館)
- 8.21(月) 山崎断層見学研修会(香寺町) 建築模型作り体験講座(県立ものづくり体験館)
- 8.22(火) 建築模型作り体験講座(県立ものづくり体験館)
- 8.23(水) 環境デザイン研修会(姫路建設会館)
- 8.24(木) CPD認定事業 構造学習会(姫路建設会館)
- CPD認定事業 建築相談(姫路市役所)
- 8.27(日) 親睦事業「シロギス釣り大会・懇親会」(大津)

■ 参加者募集中の事業

- 山崎断層見学研修会(香寺町)(再募集)
(8/7予定当日台風のため8/21へ延期しました)
- 親睦事業「シロギス釣り大会・懇親会」(大津) 締切日: 8月19日

◆釣り大会日程◆

- ◆日 時 : 8月27日(日) 13:30集合 (定員30人)
<タイムスケジュール>
13:30 受付・乗船場へ移動
14:00 説明・出航
14:30 到着・釣り開始(3時間)
17:30 納竿・出発
18:00 帰航
- ◆集合場所 : フィッシングセンターえびし
(姫路市大津区恵美酒町2丁目110-5)
<http://setouchimaru.wix.com/setouchimaru>
- ◆参加費 : 乗船料として
大人 : (会員) 4,000円 (会員外) 4,500円
小人 : (小学生3,000円/中学生以上は4,000円/幼稚園児以下は無料)



◆懇親会◆

- ◆日 時 : 8月27日(日) 18:30~
- ◆場 所 : 萬年楼(姫路市大津区平松260-1)
<https://tabelog.com/hyogo/A2805/A280501/28036014/>
- ◆参加費 : 大人 : (会員) 4,500円 (会員外) 5,000円 (コース、2時間飲み放題付き)
小人 : 飲み物のみ500円(食べ物別途です。)

■ お知らせ

事務局は11日~16日の間休業です。

『平成29年度 第27回全国女性建築士連絡協議会』が7月15日～16日の2日間、東京で開催されました。全国から約300人の女性建築士が集まりました。

<1日目>

【全国女性委員長会議】

各都道府県の委員長が全員参加で行われ、数点の協議事項の後、各都道府県の活動発表がありました。持ち時間1分！たくさん話したいことがあるけれど、凝縮した1分。様々な活動が報告され、とても活発に動かれていることを実感しました。

【開会式】

【活動報告】

○北海道「高校住教育講座」は、とても興味深いものでした。講座のテーマは、『「私らしい住まいの設計」～はじめての1人暮らし～』。北海道の場合は、親元を離れ1人暮らしをする人が多いようで、学校で、賃貸住宅を借りる費用試算などは教えてもらっても、通勤通学の安全性や利便性の視点、日当たりなどの快適・衛生的な住環境等までは盛り込まれていない。『自分が全て責任を持つ空間(住戸)を想像する』きっかけを設けることが狙いとのことでした。

姫路支部で、小学生、中学生を対象の授業に参加させて頂いていますが、高校生となると、自分の生活と建築と一緒に考えることで、もっと建築を身近に感じてもらえそうに思えました。楽しい授業風景が浮かびました。

○宮崎「ノベオカノドハウス」駅まちのそれぞれの場所で多様に展開される市民活動の総称のようです。建築士会と一般の方と一緒にまちづくり！設計監理を女性委員会が行って、ワークショップをしながら、完成、駅前に市民の交流と活動の場・みんなの居場所となっているようです。建築家の乾久美子さんとワークショップを開いたり、デザイナーの山崎亮さん達のプロジェクトにも参画されているようです。

【被災地報告】

岩手、宮城、福島、熊本、佐賀、鳥取の現状報告を聞きました。現地に行ったり、報告文を作成したり、とても時間もかかるのですが、「知ってもらい、伝えていくことが大切」という思いで、この報告は、毎年行われて、「現地の今」を伝えて頂いております。未来に向かって進んでいること、まだまだ時間が止まっている場所、つながる活動、青年女性と一緒にやって行く取り組みなど、たくさん考えさせられることがありました。

【基調講演】

今回のテーマ「和の空間を考える一居住空間にとって美とはなにかー」をテーマに、博物館明治村館長・早稲田大学名誉教授の中川武氏にご講演頂きました。少し難しい内容でしたが、『『日本の家』より』『日本住宅史の流れ』『日本建築(住宅)の生産史的展開』『世界史の構造と居住空間様式の生成と創造の関係』など幅広くお話頂きました。

【交流会】

1日目が終わわり、ちょっと一息。軽食が出て、挨拶と乾杯から始まり、各ブロックから2県ずつ(近畿ブロックは、滋賀と和歌山)、活動報告がありました。1時間の短い間でしたが、楽しい時間でした。一日目、終了～です。

そして、近畿ブロックでの懇親会！2次会です(笑)

総勢25名プラス会議後参加の3名の28名が参加で、途中、女性委員会担当副会長もご参加頂きました。このような集まりがあると、親しみやすく、仲間意識も強くなり、相談させて頂ける場にもなっているので、大事にしたいなと思います。

ただ、とても賑やかな関西のノリの2時間でした(笑)

その後、近畿ブロックと、熊本県や福島県、愛知県等々が合流し、一緒にカラオケ。20名以上の大部屋で大熱唱でした。とても楽しい一日でした。

<2日目>

【分科会】

8つの分科会のうち、今回、「G分科会」で、兵庫県の「ユニバーサルデザイン研究会」がコメンテーターとして発表しました。この研究会は、平成15年に女性委員会内で研究会として設立され、定例会は、現在までに115回を数えます。活動経緯や行政や他団体との連携事例などを報告、今後は、認知症についての研究を行っていくようです。また、大阪からは、冊子「安心・安全・安らぎの家」の経過報告や普及活動についての発表がありました。約2時間、意見交換の時間も途切れることなく、有意義な意見交換が出来ました。

【全体会】

8分科会のまとめ報告や、2日間の全体総評、全国女性建築士連絡協議会アピール(別紙添付)、全国大会京都大会の案内、平成30年度第28回全国女性建築士連絡協議会(高知)の案内がありました。

二日目、終了です。

この全建女は、全国の女性の活動、全国の建築の現状など、様々なことを知ることができ、交流の場でもあります。このような協議会が開催されている認知度は低いかもかもしれませんが、これを機に、少しでも多く知ってもらえたらと思います。女性連絡協議会とありますが、勿論、男性も参加することが出来ます(^_^)

来年度の全国女性建築士連絡協議会は、平成30年7月28日(土)～29日(日)で「高知県」です！近くて、遠いイメージですが、少しでもご興味あれば、ぜひ参加してみてください(^_^) v

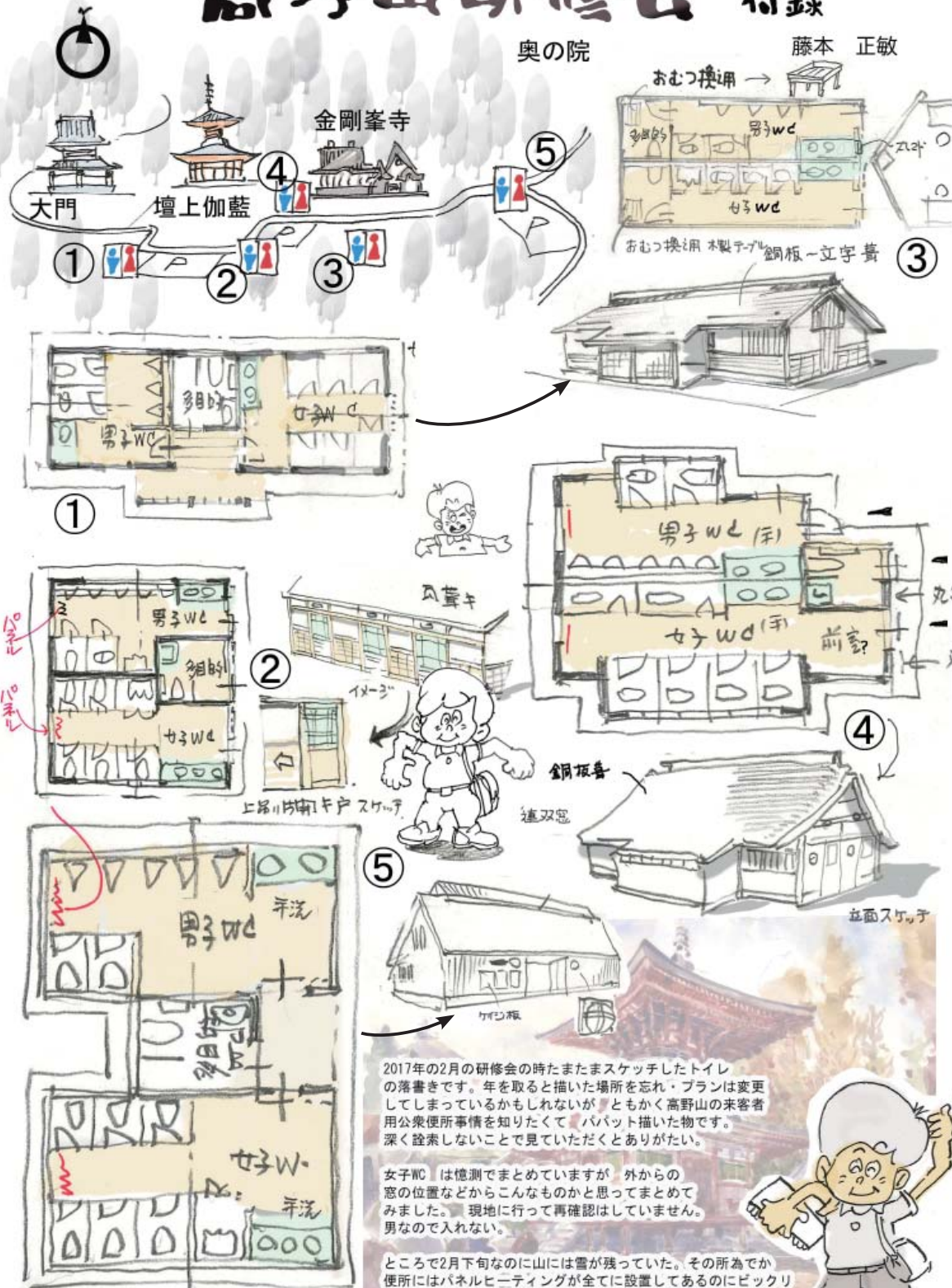


7月に1級建築士の試験監理業務に同行していただいた藤本理事と話をしていた時、藤本さんより「先日の高野山見学研修会の時、寒冷地の公衆便所の対応がどんなものか自分の勉強のためにスケッチしたよ。と初めてお聞きしました。私をご案内しているあの短時間で以下のスケッチをしながらついでこれたのか、と思うと相変わらずのスケッチ力に感嘆しただけでなく、新ためて内容を見てみると、現地の当事者の方が近接しているトイレのプランニングにかなり意識して変化させていたことに今気が付いた次第です。これは、景観をかなり意識したデザインであると思います。そういった角度からも、この内容を見ていただければと思います。」 (西嶋)

高野山研修会 付録

奥の院

藤本 正敏



2017年の2月の研修会の時たまたまスケッチしたトイレの落書きです。年を取ると描いた場所を忘れ・プランは変更してしまっているかもしれないが、ともかく高野山の未客者用公衆便所事情を知りたくて、パパッと描いた物です。深く詮索しないことで見ていただくとありがたい。

女子WCは憶測でまとめていますが、外からの窓の位置などからこんなものかと思ってまとめてみました。現地に行って再確認はしていません。男なので入れない。

ところで2月下旬なのに山には雪が残っていた。その所為でか便所にはパネルヒーターが全てに設置してあるのにビックリした。維持管理費はどこが持っているのかね。

写真・文 藤本 正敏